

2020年度 日本工学院八王子専門学校

柔道整復科

触診実技

対象	2年次	開講期	前期	区分	必	種別	実習	時間数	30	単位	1
担当教員	松山 俊			実務 経験	有	職種	柔道整復師				

授業概要

部位別に具体的な外傷の整復・固定・後療法等や治療に至るまでの注意事項を学びます。

到達目標

柔道整復師の中核ともいえる骨や筋、靭帯や関節等の観察をし、靭帯や筋の硬さや走行を感じながら触察技術を習得することを目標としている。評価を行う上で必要な機能解剖を理解する。疾患の鑑別ができるよう、また問診も含めて視診に始まり、徒手による各種検査法を中心に学び理解することを目的としている。身体計測、関節可動域計測、徒手筋力テスト、知覚の検査などを理解し、評価・観察が出来ることを目標とする。

授業方法

解剖学の知識をもとに、体表からの視覚的または徒手的に人体の構造を立体的に理解し、臨床上の評価、治療に役立てることを狙いとする。授業の進行は、基本的に学生同士が被験者となり、骨や筋、靭帯や関節等を触察していく。

成績評価方法

試験と課題を総合的に評価する。

履修上の注意

実技的要素が高く卒業後は患者の体を扱うため、学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視するとともに授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。

教科書教材

教科書（運動療法のための機能解剖学的触診技術 -青木隆明 監修-）に準拠する。

回数	授業計画
第1回	ガイダンス
第2回	レイヤー触診、キプラーロール、背部ランドマークの触診
第3回	頭頸部の触診

第4回	肩関節の触診
第5回	肩関節の捕集検査、胸郭出口症候群
第6回	胸郭出口症候群徒手検査、肘関節触診
第7回	肘関節、手関節触診、徒手検査
第8回	上肢帯、上肢の触診、徒手検査
第9回	腰部触診
第10回	腰部、骨盤帯の徒手検査①
第11回	腰部、骨盤帯の徒手検査②
第12回	膝関節の触診、徒手検査
第13回	膝関節の触診、徒手検査
第14回	足関節、足部の触診
第15回	半期の総括